

事業所名

放課後等デイサービス さらの木

支援プログラム (参考様式)

作成日

2026 年

2 月

12 日

法人 (事業所) 理念		<p>私たちは、アンジェルマン症候群のある子どもたち一人ひとりの特性を理解し、安心・予測可能な環境のもとで、その子らしい成長と笑顔を支えます。言葉での表現が難しい場合でも、表情・動き・視線・行動など、さまざまなサインを大切に受けとめ、「伝えたい気持ちが伝わる経験」を積み重ねていきます。また、てんかん、運動面の課題、感覚特性など、アンジェルマン症候群に伴う医学的・発達的特徴を踏まえ、専門職による安全で根拠ある支援を行います。ご家族や学校、医療機関等と密に連携し、日常生活・学習・遊び・社会参加がつかえるよう、子どもたちの「今」と「これから」を見据えた支援を実践します。私たちは、「できないこと」を補う支援ではなく、「できる力を伸ばし、安心して挑戦できる環境を整えること」を大切にしています。</p>						
支援方針		<p>当事業所では、アンジェルマン症候群の特性を踏まえ、安心・安全・予測可能性を軸とした支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って過ごせる構造化された環境づくり</li> <li>・非言語的コミュニケーションを尊重した丁寧な関わり</li> <li>・医学的配慮と安全管理を重視した活動提供</li> <li>・成功体験を積み重ね、自己肯定感を育む支援</li> <li>・家庭・学校・関係機関と連携した一貫性のある支援</li> </ul> <p>上記を基本方針とし、子ども一人ひとりの発達段階に応じた支援を行います。</p>						
営業時間		9 時	30 分	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを意識した活動構成と休息の確保</li> <li>・てんかん等の体調変化に配慮した健康観察</li> <li>・食事・排泄・着脱など日常生活動作への丁寧な支援</li> <li>・安心して過ごせる落ち着いた環境設定</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランス・姿勢保持・歩行など、運動発達を促す活動</li> <li>・無理のない身体活動を通じた体力づくり</li> <li>・感覚特性に配慮した遊びや運動の提供</li> <li>・楽しさを重視しながら、身体を動かす経験を積む支援</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚の手がかりを用いた活動理解の支援</li> <li>・繰り返しやルーティンを活かした学習・活動構成</li> <li>・行動の背景を理解し、安心につながる対応</li> <li>・成功体験を通じて意欲や集中力を育む支援</li> </ul>						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情・動作・視線など非言語的表現の理解と尊重</li> <li>・絵カードや視覚支援ツール等の活用</li> <li>・「伝わった」「分かっただけ」「分かってもらえた」と感じられる関わり</li> <li>・コミュニケーションの楽しさを感じられる支援</li> </ul>						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員との安定した信頼関係の構築</li> <li>・少人数での関わりを通じた対人経験</li> <li>・集団活動への無理のない参加支援</li> <li>・社会的ルールや順番、待つ経験を楽しみながら学ぶ支援</li> </ul>						
家族支援	当事業所では、アンジェルマン症候群のある子どもを支えるご家族も、支援の大切なパートナーであると考え、ご家族の不安や負担に寄り添った家族支援を行います。「お子さんだけでなく、ご家族も含めて支援対象と考え、不安を一人で抱えず、一緒に考えていく支援を大切にしています。」	移行支援	当事業所では、アンジェルマン症候群のある子どもたちが、環境の変化による不安や混乱を最小限に抑えながら、次の生活の場へ円滑に移行できることを目的に、計画的かつ継続的な移行支援を行います。「アンジェルマン症候群のお子さんは、環境が急に変わることによって不安定になりやすいため、私たちは「いきなり変える」のではなく、「慣れながら移る」移行支援を大切にしています。」					
地域支援・地域連携	当事業所では、アンジェルマン症候群のある子どもたちが、地域の中で安心して生活し、成長していけるよう、関係機関や地域資源と連携した支援を行います。子ども本人だけでなく、ご家族を含めた生活全体を支えるため、地域とのつながりを大切に、切れ目のない支援体制の構築を目指します。「アンジェルマン症候群のお子さんは、事業所だけで完結する支援ではなく、地域全体で支える視点が大切だと考えています。」	職員の質の向上	当事業所では、支援の質は職員の専門性と姿勢によって支えられるものと考え、継続的な学びと振り返りを通じて、職員の質の向上に取り組みます。アンジェルマン症候群の特性を正しく理解し、一人ひとりの子どもに適切な支援を行うため、専門性・安全意識・チーム支離力の向上を重視します。「アンジェルマン症候群のお子さんを支援するには、知識だけでなく、チームとして支える力が必要だと考えています。日々の振り返りと学びを大切にしています。」					
主な行事等	<p>当事業所では、アンジェルマン症候群の特性を踏まえ、安心・安全・見通しを大切に行事計画を行っています。行事は「特別なこと」ではなく、日常支援の延長として、成功体験や社会経験につながる機会と位置づけています。</p> <p>春 (4月～6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度スタート行事 (環境に慣れるための活動)</li> <li>・春の制作活動・感覚遊び</li> </ul> <p>夏 (7月～9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊び・感覚遊び活動</li> <li>・暑さや体調に配慮した活動調整</li> </ul> <p>秋 (10月～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の外出活動 (地域施設・公園など)</li> <li>・ハロウィン・季節行事制作</li> </ul> <p>冬 (1月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月あそび・伝統行事体験</li> <li>・節分・ひな祭り等の季節行事</li> </ul> <p>「行事は特別なことをさせる場ではなく、日常の支援の中で“できた”を広げる機会として考えています。」</p>							